

## 公立陶生病院

病院長名 味岡 正純

所在地 〒489-8642  
愛知県瀬戸市西追分町160番地

交通案内 名鉄瀬戸線「新瀬戸駅」下車、東へ徒歩5分。  
名鉄瀬戸線「瀬戸市役所前駅」下車、西へ徒歩3分。  
愛知環状鉄道「瀬戸市駅」下車、東へ徒歩5分。

### ★ 病院の特徴

当院は昭和11年に設立され、現在30診療科、633床を有する総合病院で、地域がん診療拠点病院、地域中核災害拠点病院、地域医療支援病院、救命救急センターの指定を受けた、尾張東部医療圏の急性期医療を担う公立の基幹病院です。

又、当院は地域の皆さんに、信頼される医療の提供を目指しています。「いのち」「こころ」「つなぐ」を行動指針とし、「地域の患者さんを支える病院」「患者さん主体の医療」「各科で連携したサポート体制」を目指し、先進医療を取り入れ、地域に寄り添い支え続けています。

### ★ 研修の特徴

当院は、昭和57年に臨床研修病院の指定を受けて以来500名あまりもの研修者を輩出してきた総合病院です。

当院の研修は①早期に手技が身につく「屋根瓦方式と陶生魂」②アカデミックマインドを持った医師の養成「アカデミックサポートが強い」③他職種・他業種とのチーム医療「One team対応」の3つの特徴があります。

救急外来では年間約27,000人の患者、8,000台以上の救急車を受け入れており、急性期診療を十分経験することが可能です。

また、365日運営の院内保育、アクセス良好の研修医宿舎等の働きやすい環境も整っています。



### ★ 専門研修／後期研修

内科・外科・小児科で基幹プログラム、その他は大学病院の連携プログラムとして選択が可能であり、初期研修終了後はそのまま専門研修を行うことができ、実務的な研修ができます。



### メッセージ

#### 指導医（プログラム責任者 中島 義仁）

初期研修の2年間は、医師としての基盤を築く重要な時期です。当院では、ひとつ上がつひとつ下を指導する、いわゆる「屋根瓦方式」を実践しています。全科にわたる十分な症例を、熱心な上級医・指導医のもと、救急診療・感染対策・医療安全・緩和ケアなどチーム医療の切り口で経験できます。基本から専門まで早い段階から実戦で手技を経験させてもらえます。後輩を育てたいという雰囲気が長い研修制度の変遷の中で脈々と引き継がれています。救急外来や各診療科で貴重な症例に遭遇した時には学会発表へつなげるように指導しており、研修医のうちからレベルが高い発表力が身につきます。臨床のトレーニングも十分に出来て、臨床研究や学会発表等のアカデミックサポートが充実している病院であるため、日常臨床で遭遇する疑問点・問題点に対する自己解決能力を身につけることが出来ます。是非一度当院にお越しになり、充実した研修制度とイキイキと活躍する研修医たちを見に来てください。



#### 初期研修医（青木 聡大）

私が陶生病院を初期研修に選んだのは、学生時代に陶生病院の先生方が熱意を持って指導して下さったことがきっかけでした。研修して1年が経過しましたが、各ローテ科で志望科や興味を持ったことに合わせて学ぶことができ日々充実した研修生活が過ごせたと思います。救急外来や病棟ではルート確保のみならずさまざまな手技も経験することができました。はじめは慣れない手技も先輩方や同期が練習や相談につきあってくださり不安なく習得できたと感じています。是非当院研修の雰囲気を病院見学にお越しください。研修医一同お待ちしております。



#### 初期研修医（近藤 祥大朗）

皆さんこんにちは！研修医1年目の近藤祥大朗です。私がこの病院を選んだ理由として、病院の先生方の優しく熱意のある雰囲気があげられます。見学の際にはお忙しい中、色々熱心にご指導いただいた上級医の先生方、緊張している中、暖かい言葉をかけて下さった研修医の先輩方をみて、そういった環境の中です非動いてみたいと思ったのがきっかけです。今は研修が始まって、まだまだ日が浅く、右も左もわからない中で日々を過ごしておりますが、同期にもめぐまれ充実した研修を送ることができています。



もし少しでも陶生病院に興味をもていただけたら、是非見学に来てみて下さい！会えることを楽しみにしています！

### 募集要項

採用実績	2022年度 15人 ・ 2023年度 15人
給与／月額	1年次 428,400円 ・ 2年次 526,200円 諸手当含む(給与改定により変動有り)
当直回数／月	約5回 宿直明けは休み
当直料／回	時間外勤務計算
その他	学会参加費支給有り(規定による)
応募連絡先	担当者 研修管理室
	電話番号 0561-82-5101 内線4420
	Eメール kenshu@tosei.or.jp